

取扱補足説明書

DAYTONA®

R94805 ①/①

* この取扱補足説明書はご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

* この取扱補足説明書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

* この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱補足説明書も併せてお渡しください。

バイク用スマートフォンケース FAQ

商品 NO.

別記

■ ご使用前に必ず内容をご確認ください ■

この商品に関するFAQ(よくあるご質問)を以下にまとめてあります。説明書と併せてご使用前に必ずご確認ください。

■ ケース本体の着脱が固い

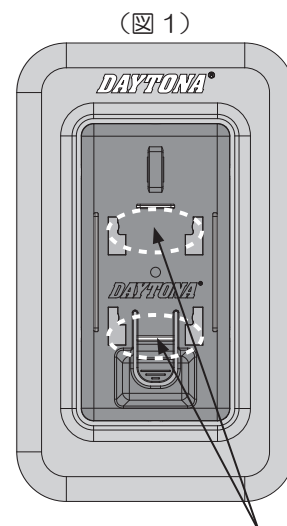
走行使用時に発生する小刻みなケース揺れを最小化する目的で、ケース背面アタッチメントとロックパーツ(クランプ先端部品)の初期スライド勘合をきつめに設計しております。

ケース本体の着脱を何度か繰り返すことで樹脂がなじみ、固さはある程度とれますが、操作性が悪いと思われる場合は以下を行ってください。

<施工>

市販のシリコンスプレーを極少量(φ10以下の弱噴射で必要十分)ウエスに含ませ、ケース背面アタッチメントの樹脂勘合部<図1 点線囲い箇所>を軽く拭いてください。施工後は乾いたウエスで余分な溶剤を拭き取ってください。

* 樹脂素材(ポリカーボネイト)への直接溶剤塗布、素材を侵す溶剤・ケミカル類の使用は不可。



(図1)

施工箇所

■ ケースとロックパーツのガタ付きが気になる

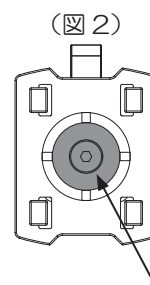
ケースをクランプに組み付けた際、構造上約0.3mm程度のクリアランスを設けてありますが、ガタ付きが気になる場合は以下を行ってください。

<施工>

ロックパーツ(クランプ先端部品)のねじ頭がある中央円部<φ20:図2 色塗り部>に必要な厚みのシールを貼って微調整してください。

* クリアランスを詰めた分だけケース本体の着脱は固くなります。比較的簡単に効果測定する場合は、市販の幅広セロハンテープ(一般的な厚さ0.05mm)を一円玉に必要な枚数重ね貼り、一円玉の外径(外径φ20)に沿ってカットしてお確かめください。

* 樹脂素材(ポリカーボネイト)を侵すシール剤は使用不可。



(図2)

施工箇所

■ ケースをスムーズに回せない

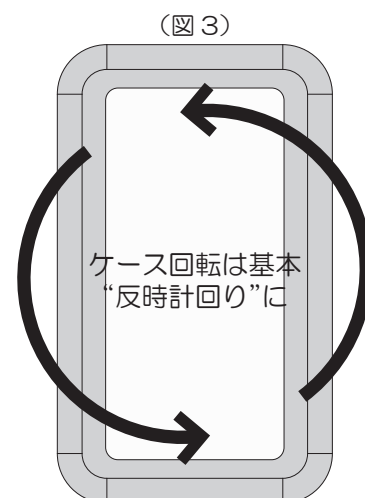
ケースの回転方向調整は、基本“反時計回り”にまわして行ってください。

構造上“時計回り”にまわすほうがより大きな力を要します。無理な操作はバックラッシュの増大や部品破損の原因となるため、基本“反時計回り”にまわして位置調整してください。<図3 参照>

■ この商品の素材を侵す溶剤・ケミカルについて

この商品の樹脂成型部品はポリカーボネイト製です。耐衝撃性や耐熱性、耐候性に優れる反面、耐薬品性に弱い性質を持っているため、潤滑油や有機溶剤、洗浄剤、接着剤が素材に付着すると、溶剤クラック(溶剤亀裂)やケミカルストレスクラックなどを容易に引き起こす原因となります。十分ご注意ください。

* ねじ締結応力が相応に掛かっているロックパーツ(クランプ先端部品)への溶剤・ケミカル類の付着は特に注意が必要です。



(図3)

ケース回転は基本
“反時計回り”に

このFAQ(よくあるご質問)の内容は、お客様の声を反映し定期更新いたします。最新情報はデイトナにお問い合わせください。